



DEC, 2024 | VOL.107

ARMY

Active Reliance Morale Yearning

陸上自衛隊 部内広報誌

TOP

輸送艦
命名式・進水式

自衛隊観閲式

自衛隊音楽まつり

陸自化学学校 OPCW指定ラボ認証

災害派遣（愛知県、石川県、宮崎県）

陸上自衛隊演習（06陸演）

共同訓練（JPMRC25、SGS24、BT24、KMD24）

能力構築支援（パプアニューギニア、フィリピン、東ティモール）

突撃！タクマくん「24式戦車シューター（仮）」

etc.

目次



輸送艦 命名式・進水式

自衛隊海上輸送群（仮称）で運用される輸送艦の命名式・進水式を挙行政



自衛隊観閲式

自衛隊70周年記念となる観閲式を挙行政



自衛隊音楽まつり

「音 -そこにある共鳴-」をテーマに壮大な音楽まつりを開催



陸自化学学校 OPCW指定ラボ認証

技能試験の合格とISO国際規格の取得によりOPCWが指定するラボとして認証



災害派遣

石川県、宮崎県、愛知県における災害派遣活動を紹介



陸上幕僚長の活動

ARMY
Vol.107



フィリピン訪問

令和6年9月1日～3日、森下陸幕長はフィリピンを訪問し、陸軍司令官ガリード中將（写真左）及び海兵隊司令官ロハス少將（写真右）との懇談を行いました。両国の陸軍種間で一層の関係強化を図っていきます。



インドネシア訪問

9月3日～7日、森下陸幕長はインドネシアを訪問し、陸軍司令官マルリ中將との懇談を行いました。日インドネシア陸軍種間で一層の関係強化を図っていくことで一致しました。



陸軍参謀長シンポジウム

9月10日～13日、森下陸幕長はオーストラリアのメルボルンで実施されたオーストラリア陸軍主催の陸軍参謀長シンポジウムに参加しました。現地ではアメリカ、オーストラリア、フィリピンの陸軍種トップと懇談を行い、各国陸軍種による防衛力強化の取組や相互の連携態勢などについて認識を共有しました。

シンガポール陸軍司令官招待

10月6日～9日、陸上自衛隊はシンガポール陸軍司令官デヴィッド・ネオ少将を公式招待しました。今回の陸軍司令官公式招待は、2017年以来7年ぶりの実施であり、両国の陸軍種間で一層の関係強化を図っていきます。



インド陸軍参謀長招待

10月15日～16日、陸上自衛隊はインド陸軍参謀長ドウィヴェディ大將を公式招待しました。インドとの間では、日インド共同訓練「ダルマ・ガーディアン」等を通じて引き続き陸軍種関係を強化していくことで一致しました。



輸送艦 命名式・進水式

特集



艦名は にほんばれ

令和6年10月29日、内海造船株式会社瀬戸田工場において、今年度末に新編が予定されている自衛隊海上輸送群（仮称）で運用される輸送艦（LCU）の命名式・進水式が執り行われました。この輸送艦は「にほんばれ」と命名されるとともに、音楽隊の演奏が鳴り響く中、進水式が挙行されました。

陸上自衛隊が海上船舶の命名式を執り行うのは今回が初めてになります。

自衛隊海上輸送群（仮称）は、統合（陸・海・空の3自衛隊で運用すること）運用の観点から防衛大臣直轄の3自衛隊共同の部隊として発足しますが、部隊の構成や運用は陸上自衛隊が主体となります。自衛隊海上輸送群（仮称）は、島しょ防衛に万全を期すため、全国各地から島しょ部へ、各種部隊、装備品等を迅速かつ確実に輸送する重要性から、既存の海自輸送艦や空自輸送機、民間船舶などと組み合わせて統合運用することで、海上輸送力の強化につながるものです。

艦名は ようこう



令和6年11月28日、にほんばれの命名式・進水式が挙行された同工場において、にほんばれに続き自衛隊海上輸送群（仮称）に配備が予定される輸送艦（LSV）「ようこう」の命名式・進水式が実施されました。



輸送艦（LSV）は、部隊や補給品の輸送を行う船舶であり、先月進水した輸送艦（LCU）に比して大型の船舶です。これらの取得により、南西諸島等に対する迅速かつ確実な部隊・補給品の輸送が可能となり、島しょ防衛に万全を期するものとなります。



自衛隊 観閲式

令和6年度
防衛省・自衛隊70周年記念
観閲式



令和6年11月9日、陸上自衛隊朝霞訓練場にて、令和6年度防衛省・自衛隊70周年記念観閲式が実施されました。観閲式には最高指揮官として石破茂内閣総理大臣を観閲官に迎えるとともに、令和3年以来3年ぶりに陸上自衛隊が式典を担当しました。

令和3年に実施した前回の観閲式はコロナ禍だったこともあり規模が縮小されていましたが、今回の観閲式には陸自の隊員約800名が参列部隊として参加し、陸自の威容を示しました。観閲行進として、普通科部隊による徒步行進、各職種部隊等の車両約50両の車両行進が実施されるとともに、陸海空の航空機14機の観閲飛行も実施され、70周年の節目にふさわしい規模の観閲式となりました。



令和6年度自衛隊音楽まつり

JAPAN SELF-DEFENSE FORCES MARCHING FESTIVAL 2024

防衛省・自衛隊は、令和6年11月15日及び16日、日本武道館において、令和6年度自衛隊音楽まつりを実施しました。今年は『「音」-そこにある共鳴-』をテーマに、音そのものにフォーカスすることで音楽隊が本来持っている音の力を最大限に引き出すとともに、全ての国が国境を越え共鳴し合う壮大な音楽まつりとなりました。

本音楽まつりには、自衛隊から陸海空セントラルバンド、東北方面音楽隊、防衛大学校儀仗隊、第302保安警務中隊、自衛太鼓及び演技支援隊が参加し、ゲストバンドとしてヨルダン軍軍楽隊及び米海兵隊第3海兵機動展開部隊音楽隊を迎えて開催しました。

ゲストバンドのヨルダン軍軍楽隊は本音楽まつりに初めて参加し、日本の楽曲を含む演奏・演技は勿論のこと、本音楽まつりのために作曲した日ヨルダン友好の楽曲とともに会場を沸かせました。

太鼓チームは、北海自衛太鼓、滝川しぶき太鼓、八戸陣太鼓、船岡さくら太鼓、朝霞振武太鼓、滝ヶ原雲海太鼓、信太菊水太鼓、三河陣太鼓、熊本西特連太鼓、小倉ひびき太鼓、薩摩川内焰児太鼓の総勢11チームが参加しました。

また、パリ五輪の自衛官メダリストも登場して観覧された方々に挨拶しました。



陸自化学学校 OPCW指定ラボ認証

国内では初となる快挙

OPCW技能試験合格・ISO取得

令和6年8月9日、陸上自衛隊化学学校は、世界的な化学兵器の全面禁止と不拡散を目的に活動する化学兵器禁止機関（OPCW）から、OPCW技能試験合格により化学物質の分析能力を認められ、またISOの国際規格（試験所認定）を取得したことから、国内では初となるOPCWが指定するラボとして認証されました。9月25日に大宮駐屯地においてその記念式典が行われました。

この指定ラボへの認証は、陸自が国際基準の高い事態対処能力を保有していることを国内外に示し、わが国への化学攻撃に対する抑止力向上につながるものです。陸上自衛隊は、今後も軍備管理・軍縮に係る国際的な取組へ参画し、更なるグローバルな安全保障環境改善に貢献していきます。



災害派遣活動

石川県能登半島における 大雨に係る災害派遣

令和6年9月21日に石川県能登地方を襲った記録的な大雨の被災地で、防衛省・自衛隊は約1,200人態勢で懸命の捜索活動と被災者の生活支援に当たりました。

自衛隊は1月1日に発生した能登半島地震で、人命救助と地域の復旧・復興に向けて過去最長の274日に及ぶ災害派遣活動に従事していましたが、8月31日の撤収からわずか3週間で再び現地入りし、地域に寄り添った活動を続けています。



愛知県蒲郡市における 土砂災害に係る災害派遣

8月27日に愛知県蒲郡市において発生した土砂災害に伴い、防衛省・自衛隊は同地域において人命救助活動に当たりました。

陸上自衛隊第6施設群を基幹とする約30名態勢により、警察や消防と連携して人命救助活動を実施するとともに、第10偵察戦闘大隊による情報収集活動及び蒲郡市に対する連絡員を派遣して円滑な活動の実施に寄与しました。

宮崎県延岡市における 土砂災害に係る災害派遣

10月23日に宮崎県延岡市において発生した土砂災害に伴い、防衛省・自衛隊は同地域において人命救助活動に当たりました。

陸上自衛隊第43普通科連隊は、24時間態勢で警察や消防と人命救助活動を実施するとともに、宮崎県庁及び延岡市役所に対する連絡員を派遣して円滑な救助活動に寄与しました。





06陸演

令和6年度 陸上自衛隊演習

3年ぶりの陸上自衛隊の全部隊を対象とした演習

陸上自衛隊は、令和6年9月2日～12月3日、全国の駐・分屯地、各演習場、奄美大島等において、令和6年度陸上自衛隊演習（通称「06陸演」）を実施しました。06陸演は、陸上自衛隊の任務遂行能力及び運用の実効性の向上を図り、抑止力・対処力を強化することを目的としています。

06陸演は、令和3年以来3年ぶりに陸上自衛隊の全部隊を対象として取り組んだ実動演習で、陸上幕僚監部及び陸上総隊以下の部隊が全国規模で作戦準備段階から作戦段階までを一連の行動として訓練を実施しました。

また、一部の部隊は、機動展開後に日米共同統合実動演習（キン・ソード25）に参加しました。

陸上自衛隊演習とは？

陸上自衛隊の全ての部隊を対象とした演習
全国規模で準備段階から作戦段階まで
一連の行動として訓練を実施



共同 訓練

令和6年度米陸軍との実動訓練

ジョイント・パシフィック・マルチナショナル・レディネス・センター25
Joint Pacific Multinational Readiness Center 25

JPMRC25



米太平洋陸軍主催の多国間訓練

米陸軍との実動訓練

令和6年9月30日～10月21日、陸上自衛隊は、米国ハワイ州オアフ島イーストレンジ演習場及びスコフィールドバラックス基地等において、令和6年度米陸軍との実動訓練（JPMRC25）を実施しました。

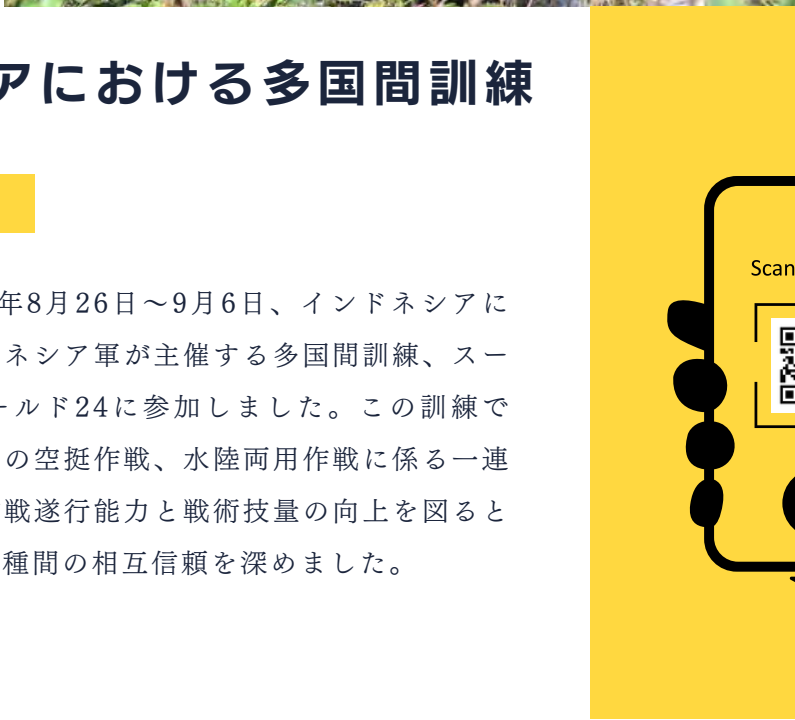
この訓練は、電磁波領域を含む作戦環境下における一連の行動を通じて作戦遂行能力及び戦術技量の向上を図ることを目的として実施され、日本と米国のほか、オーストラリア、インドネシア、ニュージーランド、モルディブ、マレーシア、シンガポール、タイ及びイギリスが参加しました。



共同 訓練

スーパー・ガルーダ・シールド24 Super Garuda Shield 24

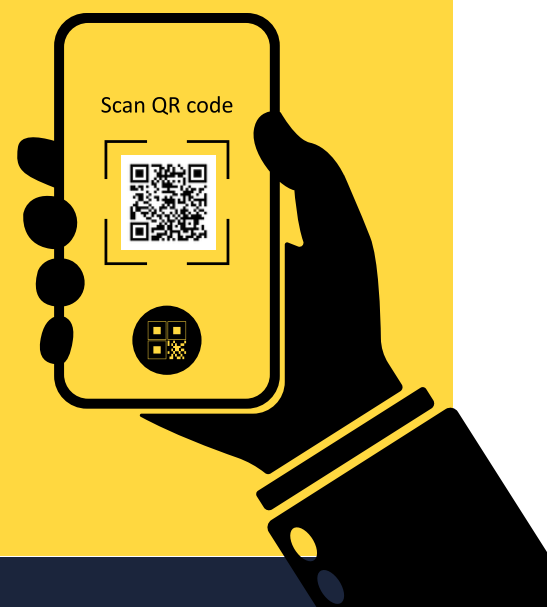
SGS24



インドネシアにおける多国間訓練

島しょ奪回の演練

陸上自衛隊は、令和6年8月26日～9月6日、インドネシアにおいて米軍及びインドネシア軍が主催する多国間訓練、スーパー・ガルーダ・シールド24に参加しました。この訓練では、島しょ奪回のための空挺作戦、水陸両用作戦に係る一連の行動を演練して、作戦遂行能力と戦術技量の向上を図るとともに、参加各国陸軍種間の相互信頼を深めました。



ブリュネ・タカモリ24

Brunet Takamori 24

対ゲリコマ



陸上自衛隊は、令和6年9月8日～20日、王城寺原演習場及び岩手山演習場において、令和6年度仏陸軍との実動訓練（ブリュネ・タカモリ24）を実施しました。

この訓練は、日本国内において初となる日仏陸軍種による共同訓練で、対ゲリラ・コマンドウ作戦に係る戦術技量の向上を図るため、中隊規模以下の戦術行動及び実弾射撃に係る訓練を実施しました。本訓練によって陸上自衛隊は、フランス陸軍との相互理解・信頼関係を強化しました。



カマンダグ24

Kamandag 24

災害救援



陸上自衛隊は、10月15日～25日、フィリピン共和国ボヘアードール海兵隊基地、ボニファシオ海兵隊基地などにおいて、令和6年度比国における米比海兵隊との実動訓練（カマンダグ24）に参加しました。

この訓練では、実艦艇や米海兵隊MV-22を使用した洋上機動から始まる一連の災害救援要領を訓練するなど、水陸両用作戦能力を活用した災害救援能力の向上を図りました。





能力構築支援

Capacity Building

パプアニューギニア

陸上自衛隊は、令和6年8月13日～9月10日、中央音楽隊から6名を派遣し、パプアニューギニア独立国の首都ポートモレスビーにおいて、軍楽隊に対する能力構築支援事業に参加しました。

この事業では、パプアニューギニア国防軍司令部幕僚及びパプアニューギニア国防軍軍楽隊員に対し、一般的な軍楽隊としての編成及び軍楽隊に必要な施設、装備品（楽器、車両等）等に関する知見の提供を行うとともに、軍楽隊員の演奏技術に係る指導、指導者の育成及び部外演奏会への協力を行いました。





フィリピン

陸上自衛隊は、令和6年9月1日～7日、第8師団司令部から1名、第42即応機動連隊から7名、陸上幕僚監部防衛部から1名を派遣し、フィリピン共和国(マニラ・レガスピ)において、フィリピン陸軍に対する災害対処に係る能力構築支援事業に参加しました。

この事業は、地震災害時におけるフィリピン陸軍の災害対処能力の把握(訓練視察、同対処要領・教訓に係る意見交換)、人命救助器材の操法及び定期整備に係る技術指導・助言、WPSフォーラムに参加するもので、フィリピン陸軍第525工兵大隊等に対して行われました。

能力構築支援 Capacity Building



東ティモール

陸上自衛隊は、10月1日～30日、14名の派遣をもって、東ティモール民主共和国メティナロ基地(首都ディリ近郊)において、能力構築支援事業「HARII HAMUTUK(ハリイ・ハムトゥック)24」に参加しました。

東ティモールに対しては、平成24年より同軍の災害対処能力向上を目的として、施設・施設機械整備及び車両維持・整備技術に関する人材育成を継続しています。



災害対処訓練及び 同志国との連携強化

みちのくALERT 2024

令和6年11月15日～24日、東北方面隊は大規模震災対処訓練みちのくアラートを実施しました。

また陸自として本訓練において、13か国37名の同志国オブザーバーや27か国33名の在日外国大使館付武官に対する研修プログラムを行い、東日本大震災の災害派遣の教訓や近年の災害派遣における取組について共有しました。



陸上自衛隊 最先任上級曹長の 活動

第16期最先任上級曹長課程講話

11月13日、綿引陸自最先任は、教育訓練研究本部において、第16期最先任上級曹長課程入校者16名に対し「全ては精強性と隊員の幸せの為に」と題し講話を実施しました。(写真上段)



陸自最先任メダルの授与

11月14日、綿引陸自最先任は、明治記念館で実施された陸上幕僚長主催優秀隊員招待行事において、顕著な功績のあった優秀隊員34名に対しメダルを授与しました。(写真下段)



突撃！タクマくん

~vol.3 『24式戦車シューター（仮）』について~



ARMY107号をご覧の皆様、こんにちは！私は陸GIRLのヌウちゃんだよ♪
今回はなんと、私たちが登場するゲームの開発状況についてお知らせするよ！
その名も「24式戦車シューター（仮）」！陸上自衛隊広報センター（りっくんランド）にあるフライトシミュレーターと姉妹機になる戦車射撃シミュレーターで、リアルさを追求したフライトシミュレーターはパイロット泣かせな仕様だけど、こっちは小中学生向けのシューティングゲームになってるよ！

つ、ついに僕もゲームのキャラクターに...!!
それじゃあ早速、24式戦車シューター（仮）について説明するね！このゲームはとらわれてしまったユウちゃんを救出に行くっていうストーリーなんだ。1人モードはもちろん、2人モードも選ぶことができ、大迫力のモニターと振動する椅子によって臨場感のある体験ができるよ。
最後の画面ではシューターの腕前を5段階で評価するから、最高ランクを目指してみんなもプレイしてみてね！



《24式戦車シューター（仮）》



（開発中のモード選択画像）

24式戦車シューター（仮）とは？

令和6年度末までにりっくんランドに導入予定の陸自の最新鋭の体験型アトラクションで、リアル路線のフライトシミュレーターと姉妹機になる小中学生向けの戦車射撃シミュレーター、いわゆるシューティングゲームだよ。

左の画像は開発中のモード選択画面で、タクマくんがユウちゃんを助けに行くっていうストーリー。君も射撃の腕前を披露して最高ランクを獲得してみよう！



隊舎等の建替

令和6年度以降
隊舎は、原則個室化
として設計



洗面所の改修



シャワー室の改善



生活・勤務環境の改善・魅力化

令和5年度以降、防衛省及び陸上自衛隊の予算環境が変化する中、隊員の生活・勤務環境を改善・魅力化するため、施設の建替・修繕、被服、営舎用備品、寝具等の更新、宿舍の整備、人的基盤維持備品（厚生用備品等）の整備を順次、推進しています。



演習場浴場の整備

駐屯地等の生活隊舎
（自習室等）に勉強目的等
のWi-Fiを設置予定



Wi-Fiの設置

更新所要のある被服等を
随時更新中



トレーニング器具の整備



被服の更新

新しい生活スタイルを
考慮していきます！



（イメージ）

営舎用備品の仕様見直し



緊急登庁支援について

災害等発生時において、緊急に登庁しなければならない場合に、**預け先のない子ども**を駐屯地内の施設において**預ける**ことができる制度のことです。いざという時に任務に専念できるよう、共働きや小さなお子様を持つ隊員の皆様は、是非活用ください♪



どれだけの期間預けられるの？

発災後すぐに預けることが可能で、親族等が迎えに来てもらうまでを想定して、**5日程度の期間**預けられます。



誰が何処で面倒見てくれるの？

駐屯地の施設で残留可能な**保育に係る講習等を受けた隊員**が面倒を見てくれるので安心です。**保育士資格を保有する予備自衛官**等も募集しています。



預ける際に準備するものは？

最小限の**着替え**などの他、現行の制度では、お子様に食事を支給できないため、**食べ物**を準備してもらう必要があります。



緊急登庁支援を有効に活用するためには

【ポイント①】所属部隊を通じて預けたい**お子様を事前に登録**してください。

お子様の疾病やアレルギー、定期的な投薬の必要性や、その要領などについても登録の際に申告して下さい。

【ポイント②】預けるのに必要なお子様の**最新の情報**について**更新**してください。

異動等に伴う引取り先の親族の変更や、連絡先の変更については、必要な連絡を速やかに行うために確実に更新して下さい。

【ポイント③】**平素から**ご家族や親族と預けるための**準備や相談**をお願いします。

- 預ける日数分を見越した衣服等の準備
- 食事等を購入できない場合の食料品の備蓄
- 引き取る家族や親族等との相談

予備自衛官等



予備自衛官志願に関する不安の解消施策の実施

東北方面隊では、退職予定の現職自衛官と予備自衛官が懇談し、訓練内容や仕事との両立など、予備自衛官志願にあたり、不安となる材料を事前に解消する場を設ける取り組みを実施しています。

自衛隊を退職して1年未満で予備自衛官へ採用された場合、初年度は『1日間訓練』の出頭のみです。その出頭調整を通し、新しい生活や仕事への影響を確認して次年度以降につなげることができます。

まずは『1日間訓練』に参加してから考えては如何でしょうか！皆さんの志願をお待ちしております。

(引用元) 第2施設団第11施設群
第2施設団第312ダンプ車両中隊

令和6年度日米共同統合演習に 即応予備自衛官が参加

東部方面隊では、10月24日から29日までの間、令和6年度日米共同統合演習（キーン・ソード25）に第31普通科連隊所属の即応予備自衛官が参加しました。

キーン・ソード25では、横須賀地区において米軍、海上自衛隊と実戦的な施設の防護訓練を実施し、練度の向上や相互の連携の強化を図りました。

みなさんも自衛隊で培った経験・技能を、退職後も即応予備自衛官として活かしてみませんか！

(引用元) 東部方面混成団

WINTER

VOL.107

JGSDF Internal PR Magazine

ARMY

